

活動記録書

開催日： 平成 28 年 10 月 6 日（木） 晴れ	開催テーマ： 藤沢・遊行寺と義経を訪ねる
開催場所： 藤沢地区	記入者： 近藤 健
参加人数： 寺社を巡る会会員 男 25 名 女 7 名 計 32 名 ビジター 男 2 名 女 名 計 2 名 合 計 34 名	
実施内容（実施の項目、方法、効果、成果、宿題など） コース 藤沢駅～庚申堂～遊行寺（長生院含む）～御殿辺公園（昼食）～白旗神社～ 義経首洗井戸～永勝寺～莊厳寺～常光寺～藤沢駅（解散） 藤沢駅北口、2F サンパール広場に集合。江ノ島に参詣する人々のため、杉山検校が寄進したと伝えられる江ノ島道標に沿って歩き、途中、庚申堂に立ち寄る。堂内の江戸時代前期の作との青面金剛立像は拝観出来ず、60 年に一度庚申の年にご開帳されるとのこと。次は 2040 年。 次は遊行寺橋を渡り、藤沢山無量光院・清浄光寺 俗称：遊行寺（時宗・総本山）を訪ねる。日本三大黒門の一つ冠木門をくぐり境内に入る。本堂は正中 2 年（1325）4 代目吞海上人による創建以来、幾度か災害をうけ昭和 12 年に関東随一の木造建築（1500 人収容）として再建された。堂内にはご本尊の阿弥陀如来座像、一遍上人像、吞海上人像が安置されている。なお、境内には幾度の火難など受けながらも、樹齢 700 年余の生命力の強さを誇る大銀杏。そして歌舞伎や浄瑠璃などで知られる小栗判官、照手姫ゆかりの長生院（小栗堂）。金沢区にも照手姫にまつわる伝説や地名が存在することに、遊行寺と金沢を結ぶ仏縁を感じた。 その後、徳川家藤沢御殿の跡地に作られたという御殿辺公園で昼食を摂る。 午後の最初は白旗神社（祭神）寒川比古命、源義経。文治 5 年奥州・衣川で自刃した義経の首がこの地で葬られたと伝えられ、宝治 3 年祭神として合祀されたという。続いて義経首洗井戸へ。鎌倉片瀬の浜での首実験のあと、あげ潮にのって境川をのぼり、この地に漂着した義経の首を、里人が洗い清めたといわれているこの井戸は、手入れ等が行き届き、武将義経の悲運に対する同情、親愛、などを受け継いでいる地域住民の気持ちが伝わる。 次は永勝寺（浄土真宗）、山門を入った左側に、飯盛旅籠を営んでいた小松屋源蔵の墓を囲むように、当時としては手厚く供養してもらえた 39 基の飯盛女の墓があった。次は莊厳寺（真言宗）、藤沢では最も古い寺の一つで本尊の不動明王は運慶の作と伝えられ、源義経の黒塗りの位牌が祀られている。最後は常光寺（浄土宗）、本尊の阿弥陀如来（伝快慶作）は鎌倉扇が谷の阿弥陀堂から移されたもの。本堂裏の弁慶塚には例年、白旗神社の秋期祭礼神輿が回ってくるという。	
参加者の状況・意見など： 台風 18 号の影響が心配されたが、幸いにも天候に恵まれ、帰途は道筋の要所、要所に描かれた宿場町の浮世絵を眺めながら、無事探訪を終えた。	
次回の予定： 11 月 3 日（木）10：00 鎌倉駅東口集合 材木座地区	